

内閣総理大臣 野田佳彦 様

原発の再稼働をやめ、再生可能なエネルギー政策へ抜本的な転換を求めます。

昨年3月11日、東日本を襲った大震災と福島第一原発による原発大震災によって、私たちの社会と生活は、『第二の敗戦』と呼ばれるほどの深い傷を負いました。一年が経っても、今なお、大量の放射能が大地と海を汚染し続け、住み慣れた土地に帰りたいという願いを果たせない人々が十数万人もおり、外で自由に遊ぶこともできず、被曝による健康被害の恐怖にさらされつづける何十万人もの子どもたちがいます。これらの現実を見るとき、原発を安全だと言って推進してきた、政治家、官僚、電力会社、御用学者、マスメディア等々の人々の責任と罪がどれほど重く大きいかは明らかです。今、政府と電力会社等が取りうる唯一のエネルギー政策は、原発に頼らないエネルギー政策への大転換です。再生可能な自然エネルギーに抜本的に転換することを強く求めます。さらに、原発大震災によって被った被害の実態を把握し、東電と政府に万全な補償を強く求めます。

1. 原発の再稼働をやめ、原発の輸出は絶対にしないこと。
2. 核燃料サイクル政策を抜本的に見直し、早期に再生可能な自然エネルギー政策へ抜本的に転換すること。
3. 原発大震災によって被った全ての被災者へ、東電が速やかな補償をするように政府は責任を持つこと。
4. 放射能に汚染された瓦礫の拡散を止め、現地で処理をして放射性物質の含まれた灰はすべて東電に送るよう政府は指導すること。

氏 名	住 所

ピースサイクル 2012 全国ネットワーク

東京都千代田区三崎町2-6-2 ダイナミックビル5F たんぽぽ舎内 TEL 03-3238-9035